

～知っていますか？高速道路ご利用の際の心得～

故障トラブルの件数が多く発生しています！

車両の点検(オイル・タイヤ・冷却水など)を確実に行いましょう。

積荷の落下などによる落下物に注意しましょう！

出発前や高速道路走行前には、必ず積荷の点検をお願いします。
※「故障車・事故・落下物あり」の表示を見たら、速度を落とし注意して走行しましょう。



後部座席でもシートベルトを着用しましょう！

高速道路などの死亡事故で後部座席同乗者の死亡者のうち約7割がシートベルト非着用。全席着用義務となっていますので、後部座席同乗者も必ずシートベルトを着用しましょう！



チャイルドシートも忘れずに！

走行車線を走行し、安全速度を守りましょう！

追い越しが終了したらその都度走行車線に戻り、安全速度と車間距離を確認することが大切です。追越車線ばかり走行していると道路交通法違反になる場合があります。速度超過や車間距離不保持になりやすく、目の前の危険に素早く対応できません。
※いつもと違う速度規制がされている場合は、近くに異常があると考え注意しましょう。情報板やハイウェイラジオで情報を収集し、進路前方の危険をいち早く察知することが大切です。

渋滞末尾の追突事故に注意しましょう！

交通量が多い場合や事故などにより渋滞が発生します。十分な車間距離をとり、前方の状況に注意して走行しましょう。
また、渋滞を発見し、低速走行や停止する場合は、ハザードランプを点灯して後続車に合図しましょう。

給油やトイレはお早めに！ 適度な休憩をとって安全運転を！

居眠り運転や漫然運転は重大な事故につながります。休憩施設で早めの休息、早めの給油を心がけましょう。

高速道路は一般道とは違います。 走行する際には、十分な事前準備と適度な緊張感がが必要です。

～ルールとマナーを守り快適なドライブを！～



イライラ運転は思わぬ大事故に…
ゆとりをもったドライブ計画を！



自分の車のサイズに合った
駐車マスに停めましょう！



路肩は緊急車両のために
空けておきましょう！



追い越し後は後方確認をおこない、
走行車線に戻りましょう！



障がいをお持ちの方や妊婦さんのためのスペースです。
本当に必要な方のために空けておきましょう！



マナーアップキャラクター
「マナーティ」

高速道路上で「人」がはねられる事故が多発しています。

高速道路における緊急時の対処法

もし、事故・故障が発生したら・・・



事故や故障でやむを得ず停車した場合、高速道路上をやみやみに歩き回らないでください。高速道路は一般道とは違います！同じ感覚での行動は絶対におやめください。



後続車の運転手が気づいているとは限りません。ハザードランプ・発炎筒・停止表示器材で後続車に対する安全措置をとってください。



運転手も同乗者も全員、通行車両に注意しながらガードレールの外など、避難できる場所かどうか確認のうえ、安全な場所に避難してください。移動の際は、足元にも十分注意してください。車内や車の前後での待機はとても危険です！後続車に追突され、命を落とす事故も発生しています。



110番・非常電話・道路緊急ダイヤル（#9910）で状況を通報してください。



非常電話とは…

- どこにあるの？
非常電話は、本線上(1kmおき)、トンネル内(200mおき)、インターチェンジ、SA、PA、バスストップ、非常駐車帯に設置されています。
- どんな時に使うの？
事故・故障などの非常事態発生時に使用してください。
- どこにつながるの？
受話器を取るだけでNEXCOの道路管制センターにつながります。事故や故障の状況・負傷者の有無などを伝えてください。

会話の不自由な方がお使いになるには

故障・事故・緊急・火災の状況を表示したボタンが設置されている非常電話では、あてはまるボタンを押してください。
※ボタンがないタイプでも受話器を上げた状態で、おおよその位置がわかりますので安心ください。会話などが困難な場合は、受話器を叩くなどの合図で緊急事態の発生をお知らせください。

道路緊急ダイヤルとは…

- どんな時に使うの？
落下物・人や自転車等の立ち入り・路肩の崩壊・路面の穴ぼこなど、車両の通行に支障となる道路の異状、緊急事態を発見した時に使用します。



全国の高速道路・国土交通省が管理する国道が対象。24時間、無料で利用できます。自動音声ガイダンスにしたがって道路名を選択してください。

道路交通法により運転中の携帯電話等の使用は禁止されており、携帯電話等による通報は必ず同乗者の方から行っていただくか、休憩施設など安全な場所に移動・停車しておかけください。高速道路は事故・故障でやむを得ず走行ができなくなった場合しか駐停車できません。

◆万一のために今一度ご確認ください◆



発炎筒はおもに助手席の足元付近にあります。緊急時にそなえ、一度手にとってご確認ください。